



内侍原町有文書
「春日社永代太々御神楽仕法帳
(文政11年〈1828〉6月吉日)」

現在、奈良市内の内侍原町にある八嶋神社では、祭礼の翌日に、町民が春日大社で神楽を奉納するのが恒例行事になっています。

これは、江戸時代と同町が主催し盛大に行われた春日信仰の一形態であった春日社永代太々神楽講の名残りであると思われるかもしれません。そこで、この神楽講がどのようなものであったのか、内侍原町の古文書からその様子を紹介したいと思います。

令和六年九月十五日(日曜日)開催
なしはらちちよう えいだいだいだいだい かぐら
内侍原町と春日永代太々神楽
氷室神社文化興隆財団 代表理事 大宮守友氏

開催日:令和6年9月15日(日)

時間:午後13時 開始

場所:感謝共生の館

会費:1,000円(当日受付にてお納めください)

*ご参加の方は公共交通機関(バス・電車)をご利用ください。お車で越越しの場合は、別途駐車料金(¥1000)が必要です。

*当日の状況により、予定内容を変更することがございます。

▼お申し込みはハガキ・FAX / お問い合わせはお電話で▼

TEL 0742-22-7788 FAX 0742-27-2114

春日大社の最新情報は <https://www.kasugataisha.or.jp> を check !

<当日の予定>

受付 12:30
講演 13:00
本殿参拝 14:30

